

実施計画事業名		漁港整備事業		評価対象年度	平成 23 年度		
評価担当部署		建設産業部 港湾課		課長(主幹)名	柘田 紀行		
総合計画体系	分野	5	産業振興				
	政策	1	自然を活用した産業の体質強化				
	施策	1	安全で良質な水産物の供給に努めます				
	関連施策	なし					
現状と課題	漁港は市内に9つ存在し、水産物供給と地域振興の基盤として、また近年では都市漁村交流や観光(抜海のアザラシ)などの機能も併せ持つなど、重要な役割を担っているが、施設の老朽化による機能低下、漁港施設の慢性的な不足による作業効率の低さが課題となっている。漁港施設の整備は国または管理者である北海道が主体となって進められている。市では、事業費に対する一定割合の負担や、市有地の整備などを行っていく必要がある。漁港公園については、市が設置し管理を行っているが、整備されて10年以上経過したトイレが5施設あり、維持費の増加が見込まれる。						
目的	漁港整備による漁業生産活動の向上、水産物の安定供給および漁業地域の活性化と、漁港公園の適正な維持管理による良好な環境の確保						
施策展開の年	<ul style="list-style-type: none"> 漁港施設(物揚場・船揚場・道路・用地等)の整備事業に対する負担金 (係留施設: 事業費×8/60、施設・道路・用地: 事業費×9/60) 平成21年度 宗谷漁港清浜地区 船揚場30m 平成22～23年度 東浦市道整備150m 東浦漁港 用地取得、道路整備220m 漁港公園の維持管理 						
成果指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度
	漁港整備箇所数		箇所	目標	2	2	1
説明	整備事業を実施した漁港の数			実績	2	3	
活動指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度
	漁港公園の開園日数		日	目標	1,160	1,160	1,160
	説明	漁港公園5か所(東浦、抜海、清浜、声問、恵山泊)の延べ開園日数		実績	1,133	1,113	
				目標	-	-	-
	説明			実績			
				目標	-	-	-
	説明			実績			
				目標	-	-	-
説明			実績				
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)	千円	7,391	6,716	7,307		
	国庫支出金	千円	2,478	0	0		
	道支出金	千円	0	0	0		
	起債	千円	0	1,000	1,300		
	その他	千円	0	0	0		
	一般財源	千円	4,913	5,716	6,007		
	この事業にかかる職員数	人/年	0.32	0.36	0.41		
人件費(B)	千円	2,173	2,503	2,851			
計(A+B)	千円	9,564	9,219	10,158			
状況変化	<p>実施計画当初(平成21年～)からの状況変化</p> <p>東浦漁港整備事業の用地取得について、開発局の測量等の進捗が若干遅れ気味であり、用地取得が平成24年度以降になる見込みである。また、施工主体が北海道で、平成23年度からは声問漁港の整備に着手しており、平成24年度からは宗谷・清浜・珊内漁港の整備が実施される見込み。</p>						

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし
	<A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 漁港については、平成24年度から宗谷漁港等の機能保全事業により、漁業活動効率の一層の向上を図っていく。 また、漁港公園及び付属するトイレは整備して以来老朽化が進んでおり、適切な管理及び補修工事を行いながら安全かつ良好な環境の確保に努めていく。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし						
	<2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--